

現 場 説 明 書 (技術的事項)

工事名 山手町市営住宅3号棟外壁改修工事

1. 現場の状況

- ・市営住宅の入居者が、日常の生活をしています。

2. 福山市週休2日適用工事について

(発注者が指定した工事に該当し実施については ①印のついたものを適用する)

- ・ 発注者指定型
- 受注者希望型

本工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする福山市週休2日適用工事です。詳細については、別紙（公共建築工事における福山市週休2日適用工事の実施について）によるものとします。

3. 留意事項

- ① 工事期間中は住宅管理人への連絡は十分に行うとともに、入居者及び第三者の安全確保に細心の注意を払い、必要な対策を講じてください。
- ② 駐車場は全て有料駐車場です。監督員の指定する駐車区画以外は、利用できません。
- ③ 工事着手に先立って入居者説明会を開催します。当該説明会への同席及び説明を求める場合があります。
- ④ 施工前に工事の内容、工事期間及び施工業者等を明示したものを掲示板に表示し、各入居者等への周知を図ってください。特に、騒音、振動、埃、臭気及び開口部の閉鎖等、日常生活に支障が出る作業は十分な周知を行ってください。
- ⑤ 埃・粉塵等が飛散する作業については集塵機の使用等が必要となります。
- ⑥ 階段については、工事中においても施設利用者が安全に利用できる様、必要な対策を講じてください。
- ⑦ 年末年始期間については、騒音・振動・採光及び通風等の住環境改善に努めてください。
- ⑧ 外部からの侵入防止対策として、仮設足場の一層部分(H=1800)を全て金網パネルとしてください。
- ⑨ 工事に伴う敷地使用は最小限にとどめてください。
- ⑩ 外部足場組立・撤去、大型車両の乗入れ及び重機作業時は、交通誘導員等を配置し、十分に安全を確保してください。

- ⑪ 既設工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。なお損傷を与えた場合には、監督員に報告するとともに、受注者の責任において速やかに復旧してください。
- ⑫ 実施工程表は契約後14日以内に提出してください。その際、工程については監督員と十分に協議してください。また、施工計画書等の承諾は速やかに受けてください。
- ⑬ 外壁調査後速やかに外壁調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て、改修工事を行ってください。
- ⑭ 特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。
- ⑮ 工事施工上必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ってください。
- ⑯ 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。

公共建築工事における福山市週休2日適用工事の実施について

- 1 本工事は、契約締結後において受注者の希望により行う、週休2日適用工事である。
なお、本適用工事の取組を希望しない受注者は、5～12に規定する義務を負わない。
- 2 本工事において「週休2日」とは、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に定める条件を満たすものをいう。
 - (1) 完全週休2日（土日） 対象期間の全ての週（原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。）毎に現場閉所又は現場休息（以下「現場閉所等」という。）を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上の現場閉所等を行うものをいう。ただし、当該期間に、日数が7日に満たない週を含む場合においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで、1週間に2日以上の現場閉所等を行っているとみなす。
 - (2) 月単位の週休2日 対象期間の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休（現場閉所等の割合が28.5%（8日／28日）以上のものをいう。以下同じ。）以上であるものをいう。ただし、当該期間に、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月を含む場合においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより、4週8休以上であるものとみなす。
- 3 本適用工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
 - (1) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (2) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (3) 対象期間 工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間（契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。）を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
- 4 受注者は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日

を実施する旨の申出は受け付けないものとする。

- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 経費については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数を用いて労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費とする。）及び現場管理費を補正するものとする。

なお、発注時点では、週休2日の経費を見込んでおらず、現場閉所等の実績に基づき、変更契約を行うものとする。

- (1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 現場管理費	1.01

- (2) 月単位の週休2日

労務費	1.02
-----	------

- 11 週休2日を達成したときは、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

- 12 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

山手町市営住宅 3号棟外壁改修工事

図面リスト	
図面番号	図名
1	図面リスト
2	外壁改修工事特記仕様書 No.1-1
3	外壁改修工事特記仕様書 No.1-2
4	外壁改修工事特記仕様書 No.2
5	外壁改修工事特記仕様書 No.3
6	附近見取図 配置図 改修仕様書
7	1・2階平面図
8	3階平面図 屋根伏図
9	立面図
10	矩計図 階段断面図
11	避難器具詳細図
12	駐輪場平面図・駐輪場立面図

福山市建設局建築部住宅課		2025年 8月			
主務	課員	次長	課長補佐	住宅課長	建築部長

 福山市建設局建築部住宅課 <small>設計 2025年 8月</small>	工事名称 山手町市営住宅 3号棟外壁改修工事		図面No.
	図面名称	図面リスト	1 / 12

福山市外壁改修工事特記仕様書																	
工事概要		特記事項		工事概要		特記事項		工事概要									
<p>I. 工事概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 工事名称 山手町市営住宅3号棟外壁改修工事 工事場所 福山市山手町六丁目地内 構造規模 3号棟、鉄筋コンクリート造3階建（延べ面積 702m²） 工事種目 外壁改修、塗装改修、防水改修、避難器具改修 別途工事 なし <p>*本工事の工期は工事検査期間としての14日を含んでいる。</p> <p>*契約締結後14日以内に実施工程表を提出する。</p> <p>*本工事は、法定外の劣化保険を見込んでいる。</p>		<p>II. 建築工事仕様</p> <ol style="list-style-type: none"> 共通仕様（最新版） 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官房部監修、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）による。ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官房官房部監修、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「建築標準仕様書」という。）による。また、石綿含有建材の除去及び処理については、国土交通省大臣官房官房部監修、建築物解体工事共通仕様書 令和4年版（以下「解体工事共通仕様書」という。）による。 官公署手続き 受注者は関係官署への必要な手続きを行います。（官公署手続きは監督員の承認後とする。） 地元企業及び地場製品の活用 受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用に努めます。 疑義に対する協議等 設計図書に定められた箇所に疑義が生じた場合又は現場の納まり、取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。 特記仕様 <ol style="list-style-type: none"> 章、項目は番号に○印のついたものを適用する。 特記事項は①印のついたものと適用する。 ②印のついた場合は、①印のついたものを適用する。 特記事項に記載の〔〕内表示番号は、「改修標準仕様書」、〔〕内表示番号は、「建築標準仕様書」、< >内表示番号は、「解体工事共通仕様書」、の当該項目、当該団又は当該表を示す。 材料および製造所等の記載順序は不同である。 		<p>III. 施工量調査</p> <p>施工量調査 [1.6.2]</p>		<p>IV. 情報共有システム</p> <p>情報共有システム</p>		<p>V. 外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）</p> <p>外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）</p>		<p>VI. 外壁改修工事（仕上げ塗材仕上げ外壁）</p> <p>外壁改修工事（仕上げ塗材仕上げ外壁）</p>							
<p>一般共通事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 適用基準等 ・ 公共住宅建設工事共通仕様書（令和元年度版） ○建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官房部監修（令和4年版） ○建設工事公害防止対策要綱（建築工事編）建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修 ○建築工事安全施工指針 建設大臣官房官房部監修部監修長連達 ○建築基準法、消防法、その他関係法令 監理（主任）技術者 受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場において工事名、工期、写真、所轄工事名及び認印のついた名前を用意する。 電気保安技術者 [1.3.3] ・ 適用する ・ 適用しない 技能士 [1.7.2] 工事別 通用種別 工事別 通用種別 		<p>VII. 施工管理</p> <p>受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。</p> <p>*施工体制台帳（建設業法等に従って作成し、写しを提出する。）</p> <p>*施工体系図（建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。）</p>		<p>VIII. 建築材料等</p> <p>建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等のものとする。ただし、同等とする場合は、監督員の承認を受ける。</p> <p>また（社）公共建設協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有するとの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。</p> <p>国等による環境物品等の譲渡・推進等に関する法律（平成12年法律第100号。「グリーン購入法」という）により、環境負荷を低減できる材料を選定するよう努める。</p> <p>材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮する。</p> <p>工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。</p>		<p>IX. 特別な材料の工法</p> <p>建築標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。</p>		<p>X. 発生材の処理</p> <p>引渡しを要するもの ・ 現場において再利用を図るもの ※ 再資源化を図るもの ・ アスファルトコンクリート ・ コンクリート ・ 木質 ※ 上記以外のものはすべて横外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）によるほか、建設業物適正化推進基準に従い適正に処理する。</p> <p>建設副産物情報交換システム（COBRI'S）（財）日本建設情報総合センター</p> <p>本工事は登録工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合速やかに当該システムにデータの登録を行なうものとする。</p> <p>また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより無い場合は、監督員と協議する。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工計画時</th> <th>工事完了時</th> </tr> <tr> <td>搬入 再生資源利用計画書</td> <td>再生資源利用実施書</td> </tr> <tr> <td>搬出 再生資源利用促進計画書</td> <td>再生資源利用実施書</td> </tr> </table>		施工計画時	工事完了時	搬入 再生資源利用計画書	再生資源利用実施書	搬出 再生資源利用促進計画書	再生資源利用実施書	<p>XI. 工事及び完成写真</p> <p>分類 規格 塗 影 数 提出部数</p> <p>着手前 サービス判断（カラー） 必要に応じた数 1</p> <p>工事中 サービス判断（カラー） 必要に応じた数 1</p> <p>完成時 サービス判断（カラー） 各室 4面 1</p> <p>キャビネ判（カラー） 外観 4面 1</p> <p>着手前、工事中写真 ※ A4判印刷、若しくはA4判写真帳 完成時写真 ※ アルバム（A4判程度）・写真帳（検査後14日以内に提出する。） 原稿の提出 ※ する（※ 完成時の写真）・全て） ○しない (電子データ形式等は、監督員の指示による。)</p> <p>完成時の提出図書 [1.9.1~3]</p> <p>○竣工図（※ 完成図）・承認図・施工図 1部 ・ A3表を2つ折りにして提出</p>	
施工計画時	工事完了時																
搬入 再生資源利用計画書	再生資源利用実施書																
搬出 再生資源利用促進計画書	再生資源利用実施書																
<p>特記事項</p> <p>（○）竣工図電子データ（竣工図電子データ作成要領による。） ○ CADデータ（媒体（CD-R等）、データ形式等は監督員の指示による。） 1部 ・ 保全に関する資料 部</p> <p>別契約の関連工事との調整等</p> <p>※ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。</p> <p>※ 別契約の関連工事受注者と工事を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。</p> <p>施工中の安全確保</p> <p>・ 労働安全衛生法に基づく指名 ○ 本工事は、交通指導員として 6人を見込んでいます。 交通誘導員の配置については、実施基準（原本）および配置状況のわかる立合い写真の撮影を行い、監督員に提出する。</p> <p>騒音・振動の防止</p> <p>低騒音型・低振動型建設機械を使用し、環境対策に努める。</p> <p>工事実績情報の登録</p> <p>※受注者は、次回に従い、工事実績情報を登録する。 登録内容について、あらかじめ監督員の承認を受けたのちに、次回の期間内に登録申請を行う。 ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉鎖日を除く。</p> <p>請負金額 工事受注時 登録内容の変更時 工事完成時 500万円以上 契約後10日以内 变更契約後10日以内 工事完成後10日以内</p> <p>変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行なう（請負金額のみ変更の場合、登録不要） ※ 登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。 なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。（登録要） 印のついた場合は、※印のついたものを適用する。</p> <p>施工量調査</p> <p>調査範囲 ※ 外壁（床、屋根） 調査方法 ※ テクノハンマーによる打診及び目視 外壁調査は、外壁改修フローに応じる外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無について位置及び数量・幅、長さ、箇所）の調査を行なう。調査結果により、適切な工法を選定し報告すること。また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督員に提出する。（必要に応じ写真を添付する）</p> <p>情報共有システム</p> <p>本工事は、インターネットを利用して、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。 本事業で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者の契約は受注者が行い、利用料を支払うものとする。 適用に当たっては、「福山市発行工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び「情報共有システム利用手引（建築工事）」によるものとする。</p> <p>外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）</p> <p>外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）</p> <p>外壁改修工事（仕上げ塗材仕上げ外壁）</p> <p>外壁改修工事（仕上げ塗材仕上げ外壁）</p>																	
<p>特記事項</p> <p>（○）別契約の関連工事との調整等</p> <p>・ 技工用電子データ（竣工図電子データ作成要領による。） ○ CADデータ（媒体（CD-R等）、データ形式等は監督員の指示による。） 1部 ・ 保全に関する資料 部</p> <p>関連工事との調整 ※ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。</p> <p>※ 別契約の関連工事受注者と工事を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。</p> <p>施工中の安全確保</p> <p>・ 労働安全衛生法に基づく指名 ○ 本工事は、交通指導員として 6人を見込んでいます。 交通誘導員の配置については、実施基準（原本）および配置状況のわかる立合い写真の撮影を行い、監督員に提出する。</p> <p>騒音・振動の防止</p> <p>低騒音型・低振動型建設機械を使用し、環境対策に努める。</p> <p>工事実績情報の登録</p> <p>※受注者は、次回に従い、工事実績情報を登録する。 登録内容について、あらかじめ監督員の承認を受けたのちに、次回の期間内に登録申請を行う。 ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉鎖日を除く。</p> <p>請負金額 工事受注時 登録内容の変更時 工事完成時 500万円以上 契約後10日以内 变更契約後10日以内 工事完成後10日以内</p> <p>変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行なう（請負金額のみ変更の場合、登録不要） ※ 登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。 なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。（登録要） 印のついた場合は、※印のついたものを適用する。</p> <p>施工量調査</p> <p>調査範囲 ※ 外壁（床、屋根） 調査方法 ※ テクノハンマーによる打診及び目視 外壁調査は、外壁改修フローに応じる外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無について位置及び数量・幅、長さ、箇所）の調査を行なう。調査結果により、適切な工法を選定し報告すること。また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督員に提出する。（必要に応じ写真を添付する）</p> <p>情報共有システム</p> <p>本工事は、インターネットを利用して、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。 本事業で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者の契約は受注者が行い、利用料を支払うものとする。 適用に当たっては、「福山市発行工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び「情報共有システム利用手引（建築工事）」によるものとする。</p> <p>外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）</p> <p>外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）</p> <p>外壁改修工事（仕上げ塗材仕上げ外壁）</p> <p>外壁改修工事（仕上げ塗材仕上げ外壁）</p>																	
<p>特記事項</p> <p>（○）別契約の関連工事との調整等</p> <p>・ 技工用電子データ（竣工図電子データ作成要領による。） ○ CADデータ（媒体（CD-R等）、データ形式等は監督員の指示による。） 1部 ・ 保全に関する資料 部</p> <p>関連工事との調整 ※ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。</p> <p>※ 別契約の関連工事受注者と工事を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。</p> <p>施工中の安全確保</p> <p>・ 労働安全衛生法に基づく指名 ○ 本工事は、交通指導員として 6人を見込んでいます。 交通誘導員の配置については、実施基準（原本）および配置状況のわかる立合い写真の撮影を行い、監督員に提出する。</p> <p>騒音・振動の防止</p> <p>低騒音型・低振動型建設機械を使用し、環境対策に努める。</p> <p>工事実績情報の登録</p> <p>※受注者は、次回に従い、工事実績情報を登録する。 登録内容について、あらかじめ監督員の承認を受けたのちに、次回の期間内に登録申請を行う。 ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉鎖日を除く。</p> <p>請負金額 工事受注時 登録内容の変更時 工事完成時 500万円以上 契約後10日以内 变更契約後10日以内 工事完成後10日以内</p> <p>変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行なう（請負金額のみ変更の場合、登録不要） ※ 登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。 なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。（登録要） 印のついた場合は、※印のついたものを適用する。</p> <p>施工量調査</p> <p>調査範囲 ※ 外壁（床、屋根） 調査方法 ※ テクノハンマーによる打診及び目視 外壁調査は、外壁改修フローに応じる外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無について位置及び数量・幅、長さ、箇所）の調査を行なう。調査結果により、適切な工法を選定し報告すること。また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督員に提出する。（必要に応じ写真を添付する）</p> <p>情報共有システム</p> <p>本工事は、インターネットを利用して、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。 本事業で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者の契約は受注者が行い、利用料を支払うものとする。 適用に当たっては、「福山市発行工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び「情報共有システム利用手引（建築工事）」によるものとする。</p> <p>外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）</p> <p>外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）</p> <p>外壁改修工事（仕上げ塗材仕上げ外壁）</p> <p>外壁改修工事（仕上げ塗材仕上げ外壁）</p>																	
<p>特記事項</p> <p>（○）別契約の関連工事との調整等</p> <p>・ 技工用電子データ（竣工図電子データ作成要領による。） ○ CADデータ（媒体（CD-R等）、データ形式等は監督員の指示による。） 1部 ・ 保全に関する資料 部</p> <p>関連工事との調整 ※ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。</p> <p>※ 別契約の関連工事受注者と工事を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。</p> <p>施工中の安全確保</p> <p>・ 労働安全衛生法に基づく指名 ○ 本工事は、交通指導員として 6人を見込んでいます。 交通誘導員の配置については、実施基準（原本）および配置状況のわかる立合い写真の撮影を行い、監督員に提出する。</p> <p>騒音・振動の防止</p> <p>低騒音型・低振動型建設機械を使用し、環境対策に努める。</p> <p>工事実績情報の登録</p> <p>※受注者は、次回に従い、工事実績情報を登録する。 登録内容について、あらかじめ監督員の承認を受けたのちに、次回の期間内に登録申請を行う。 ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉鎖日を除く。</p> <p>請負金額 工事受注時 登録内容の変更時 工事完成時 500万円以上 契約後10日以内 变更契約後10日以内 工事完成後10日以内</p> <p>変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行なう（請負金額のみ変更の場合、登録不要） ※ 登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。 なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。（登録要） 印のついた場合は、※印のついたものを適用する。</p> <p>施工量調査</p> <p>調査範囲 ※ 外壁（床、屋根） 調査方法 ※ テクノハンマーによる打診及び目視 外壁調査は、外壁改修フローに応じる外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無について位置及び数量・幅、長さ、箇所）の調査を行なう。調査結果により、適切な工法を選定し報告すること。また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督員に提出する。（必要に応じ写真を添付する）</p> <p>情報共有システム</p> <p>本工事は、インターネットを利用して、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。 本事業で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者の契約は受注者が行い、利用料を支払うものとする。 適用に当たっては、「福山市発行工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び「情報共有システム利用手引（建築工事）」によるものとする。</p> <p>外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）</p> <p>外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）</p> <p>外壁改修工事（仕上げ塗材仕上げ外壁）</p> <p>外壁改修工事（仕上げ塗材仕上げ外壁）</p>																	
<p>特記事項</p> <p>（○）別契約の関連工事との調整等</p> <p>・ 技工用電子データ（竣工図電子データ作成要領による。） ○ CADデータ（媒体（CD-R等）、データ形式等は監督員の指示による。） 1部 ・ 保全に関する資料 部</p> <p>関連工事との調整 ※ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。</p> <p>※ 別契約の関連工事受注者と工事を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。</p> <p>施工中の安全確保</p> <p>・ 労働安全衛生法に基づく指名 ○ 本工事は、交通指導員として 6人を見込んでいます。 交通誘導員の配置については、実施基準（原本）および配置状況のわかる立合い写真の撮影を行い、監督員に提出する。</p> <p>騒音・振動の防止</p> <p>低騒音型・低振動型建設機械を使用し、環境対策に努める。</p> <p>工事実績情報の登録</p> <p>※受注者は、次回に従い、工事実績情報を登録する。 登録内容について、あらかじめ監督員の承認を受けたのちに、次回の期間内に登録申請を行う。 ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉鎖日を除く。</p> <p>請負金額 工事受注時 登録内容の変更時 工事完成時 500万円以上 契約後10日以内 变更契約後10日以内 工事完成後10日以内</p> <p>変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行なう（請負金額のみ変更の場合、登録不要） ※ 登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。 なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。（登録要） 印のついた場合は、※印のついたものを適用する。</p> <p>施工量調査</p> <p>調査範囲 ※ 外壁（床、屋根） 調査方法 ※ テクノハンマーによる打診及び目視 外壁調査は、外壁改修フローに応じる外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無について位置及び数量・幅、長さ、箇所）の調査を行なう。調査結果により、適切な工法を選定し報告すること。また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督員に提出する。（必要に応じ写真を添付</p>																	

章	項目	特記事項	章	特記事項	章	特記事項	章	特記事項	章	特記事項																																					
⑦ 石綿含有建材の除去及び管理	① 事前調査 <1.4.1>	目視及び設計図書等により、あらかじめ事前に次の事項について事前調査を行い、調査結果をとりまとめて監督員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。また、関係法令等に基づき、官公署へ報告を行う。 (1) 使用部位の確認 (2) 種別、厚さ等の確認 (3) 使用数量の確認 (4) 施工範囲と工事管理区分の確認 ・ 石綿含有分析検査 (※ 不要 ・ 必要 (内容は下記による)) ※ 分析方法 JIS A1481-1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による定性分析 ※ 分析必要部屋名等 (※ 図示) (分析必要箇所 (箇所))	5 石綿含有保温材等の除去 <6.4.1~6.4.4>	⑧養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4.2.5により処理等を行う。 ⑨後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。 1) 処理を行う石綿含有保温材等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有保温材等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 2) 養生等 ①石綿含有保温材等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔壁養生(負担不要)を行う。 ②作業場の隔壁 (・行う ※ 行わない) 石綿含有保温材等の除去にあたり、接着落し・破砕・切断による方法の場合は、作業場の隔壁を行なうこと。 3) 作業場の隔壁を行う場合は、4.2) を適用する。 施工工法 ※ 粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手はらし ・ 石綿含有吹き付け材の除去による 除去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤等の保管、運搬、処分等による。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②確認の後に、除去面に粉じん飛散抑制剤等を散布する。 ③養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。また、石綿の付着が考えられる場合には、必要に応じて粉じん飛散抑制剤又は粉じん飛散抑制剤を散布する。	石綿含有保温材等の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・	6 石綿含有成形板等の除去 <6.5.1~6.5.4>	1) 処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有成形板等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 2) 養生等 石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う。 3) 施工工法 ①原則、手はらしで行なう。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔壁養生(負担不要)を行う。 ②除去した石綿含有成形板等の保管及び積込みに当たっては、高所より落下しないことの他、粉じんの飛散防止に努める。 ③積み替えた石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 4) 養生した石綿等の保管、運搬、処分等 ①専門的または技術的知識を有する者等により、保管のまつとし、処分先は監督員の指示による。 ・ 石綿含有成形板等の保管、運搬、処分等による ※ 墓立処分(管理型最終処分場) ・ 石綿含有成形板等を除く石綿含有成形板等 ・ 墓立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ②除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物と分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の廃棄場所であることを表示を行う。 ③石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分清掃する。	石綿含有成形板等の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・	7 石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の除去	1) 処理を行う石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有仕上塗材の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 2) 養生等 電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔壁養生(負担不要)を行う。 3) 除去工法 (施工場所 : ※ 図示) ①石綿含有仕上塗材の除去は、高圧水洗工法や剥離剤を用いる工法等により、湿潤化した状態で行なう。 ②電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤化した状態で作業を行う。なお、湿潤化が著しく困難な場合は、粉じん性能を有する電動工具を使用するなど粉じんの飛散を防止する。 ③除去した石綿含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋等により二重でこん包する。 4) 養生した石綿等の保管、運搬、処分等 6.4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 処分先については、監督員の指示による。 ・ 墓立処分(・ 安定型最終処分場 ・ 管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分清掃する。	石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・									
石綿含有保温材等の仕様	使用部位																																														
・	・																																														
・	・																																														
・	・																																														
・	・																																														
石綿含有成形板等の仕様	使用部位																																														
・	・																																														
・	・																																														
・	・																																														
・	・																																														
石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位																																														
・	・																																														
・	・																																														
・	・																																														
・	・																																														

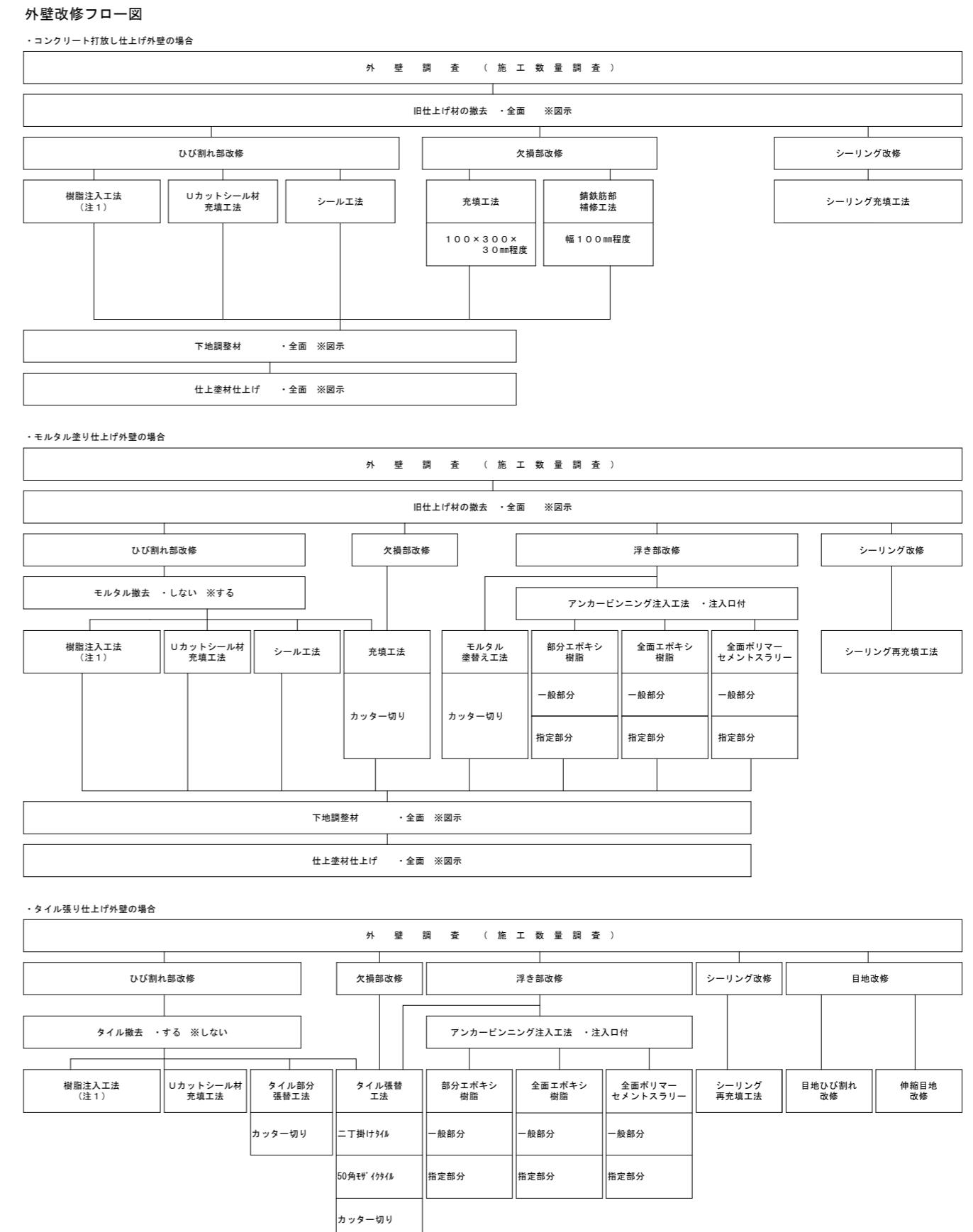


福山市建設局建築部住宅課
設計 2025年 8月

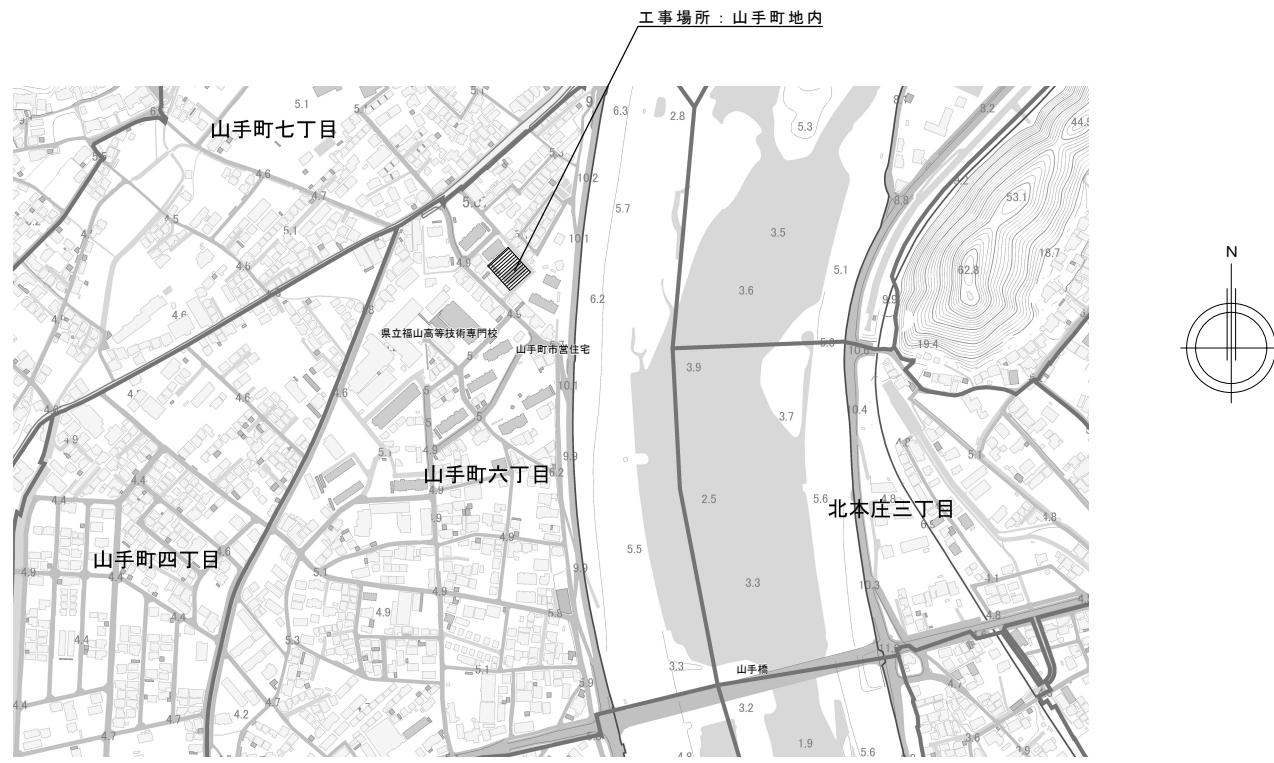
工事名称
山手町市営住宅3号棟外壁改修工事
図面名称
外壁改修工事特記仕様書 No.1-2

名 称		A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		C 鋼筋筋部処理		D 浮き部処理			
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]	A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]	B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4. 2. 5] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm	B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 1. 0mm超	B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm	B-4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm	B-5 モルタル面整体部樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm				
改修前	改修後										
工 程		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（・全面 *部分） ②水洗い (15MPa程度) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（・全面 *部分） ②水洗い (15MPa程度) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エボキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①ひび割れ部Uカット ②水洗い (15MPa程度) ③エボキシ樹脂充てん後接着 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①ひび割れ部Uカット ②水洗い (15MPa程度) ③エボキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エボキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エボキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)			
		設計数量： 4.5 m ²	設計数量： m ²	設計数量：ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm (63.4) m ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm (5.3) m () 内は挙動ひび割れ数量を示す	設計数量： 0.2 m	設計数量： 8.7 m	設計数量：ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm () m ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm () m () 内は挙動ひび割れ数量を示す	設計数量： m			
名 称	B ひび割れ部処理		C 鋼筋筋部処理		D 浮き部処理						
記号・仕様	B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1. 0mm超		B-7 モルタル面Uカットエボキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		C-1 打放し面鋼筋筋部処理		D-1 モルタル面はつり				
改修前	改修後										
工 程		①ひび割れ部Uカット ②水洗い (15MPa程度) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①ひび割れ部Uカット ②水洗い (15MPa程度) ③シーリング材打設 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①鋼筋筋周囲のはつり ②縫合とし ③水洗い (15MPa程度) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①カッター縁切り (C-3) ②浮き部はつり ③縫合とし ④水洗い (15MPa程度) ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①カッター縁切り (C-3) ②浮き部はつり ③縫合とし ④水洗い (15MPa程度) ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①一般部分標準グリッド (250×250) (指定部以外の部分)	③狭幅部 (幅200mm以下帯状に剥離している幅の狭い箇所)			
		※A-2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-1工法に含む。	※A-2工法を行う場合は、②、④の工程はA-1工法に含む。	※A-2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA-2工法に含む。	※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。	※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。	設計数量： 0.0 m	設計数量： m	設計数量： 5.0 m	設計数量： m	設計数量： m
名 称	D 浮き部処理		D-2 モルタル面アンカーピニング部分エボキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 11] D-2' タイル面アンカーピニング部分エボキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 9]		D-3 モルタル面アンカーピニング全面エボキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 12] D-3' タイル面アンカーピニング全面エボキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 10]		D-4 モルタル面アンカーピニング全面ポリマーセメントストライー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカーピニング全面ポリマーセメントストライー注入工法 [標仕4. 4. 11]		D-5 モルタル面注入付アンカーピニング部分エボキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-5' タイル面注入付アンカーピニング部分エボキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]		
改修前	改修後										
工 程		①穿孔 ②孔内エアー清掃 ③エボキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 ⑤穿孔部埋戻し [エボキシパテ] ⑥サンダーケレン ⑦水洗い (15MPa程度) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①穿孔 ②孔内エアー清掃 ③エボキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 ⑤穿孔部埋戻し [エボキシパテ] ⑥サンダーケレン ⑦水洗い (15MPa程度) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)	③狭幅部 (幅200mm以下帯状に剥離している幅の狭い箇所)	①穿孔 ②孔内エアー清掃 ③エボキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 ⑤穿孔部埋戻し [エボキシパテ] ⑥サンダーケレン ⑦水洗い (15MPa程度) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)	③狭幅部 (幅200mm以下帯状に剥離している幅の狭い箇所)	①穿孔 ②孔内エアー清掃 ③エボキシ樹脂注入 ④エボキシ樹脂注入 ⑤穿孔部埋戻し [エボキシパテ] ⑥サンダーケレン ⑦水洗い (15MPa程度) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)	③狭幅部 (幅200mm以下帯状に剥離している幅の狭い箇所)
		※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-2'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。	※A-2工法を行う場合は、②、④の工程はA-2工法に含む。	※A-2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA-2工法に含む。	※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。	※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。	設計数量： ①一般部分： m ² ②指定部分： m ² ③狭幅部： m	設計数量： m	設計数量： 5.0 m	設計数量： m	設計数量： m
名 称	D 浮き部処理		D-4 モルタル面アンカーピニング全面ポリマーセメントストライー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカーピニング全面ポリマーセメントストライー注入工法 [標仕4. 4. 11]		D-5 モルタル面注入付アンカーピニング部分エボキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-5' タイル面注入付アンカーピニング部分エボキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]		D-6 モルタル面アンカーピニング全面ポリマーセメントストライー注入工法 [標仕4. 3. 15] D-6' タイル面アンカーピニング全面ポリマーセメントストライー注入工法 [標仕4. 4. 13]		D-7 モルタル面注入付アンカーピニング全面エボキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 16] D-7' タイル面注入付アンカーピニング全面エボキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 14]		
改修前	改修後										
工 程		①穿孔 ②孔内エアー清掃 ③ポリマーセメントストライー注入 ④ステンレスピン挿入 ⑤穿孔部埋戻し [ポリマーセメントストライー] ⑥注入孔 ⑦孔内エアー清掃 ⑧ポリマーセメントストライー注入 ⑨穿孔部埋戻し [ポリマーセメントストライー] ⑩注入孔 ⑪孔内エアー清掃 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①穿孔 ②孔内エアー清掃 ③ポリマーセメントストライー注入 ④ステンレスピン挿入 ⑤穿孔部埋戻し [ポリマーセメントストライー] ⑥注入孔 ⑦孔内エアー清掃 ⑧ポリマーセメントストライー注入 ⑨穿孔部埋戻し [ポリマーセメントストライー] ⑩注入孔 ⑪孔内エアー清掃 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)	③狭幅部 (幅200mm以下帯状に剥離している幅の狭い箇所)	①穿孔 ②孔内エアー清掃 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 ④エボキシ樹脂注入 ⑤穿孔部埋戻し [エボキシパテ] ⑥サンダーケレン ⑦水洗い (15MPa程度) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①一般部分標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分)	③狭幅部 (幅200mm以下帯状に剥離している幅の狭い箇所)	①穿孔 ②孔内エアー清掃 ③エボキシ樹脂注入 ④エボキシ樹脂注入 ⑤穿孔部埋戻し [エボキシパテ] ⑥サンダーケレン ⑦水洗い (15MPa程度) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)	①一般部分標準グリッド (250×250) (指定部以外の部分)	③狭幅部 (幅200mm以下帯状に剥離している幅の狭い箇所)
		※D-4'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。	※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。	※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。	※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。	※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。	設計数量： ①一般部分： m ² ②指定部分： m ² ③狭幅部： m	設計数量： m ²	設計数量： m ²	設計数量： m ²	設計数量： m ²
名 称	D 浮き部処理		D-8 モルタル面注入付アンカーピニング全面ポリマーセメントストライー注入工法 [標仕4. 3. 17] D-8' タイル面注入付アンカーピニング全面ポリマーセメントストライー注入工法 [標仕4. 4. 15]		D-9 モルタル面注入付アンカーピニング全面エボキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 18] D-9' タイル面注入付アンカーピニング全面エボキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 16]		D-10 モルタル面注入付アンカーピニング全面ポリマーセメントストライー注入工法 [標仕4. 3. 19] D-10' タイル面注入付アンカーピニング全面ポリマーセメントストライー注入工法 [標仕4. 4. 17]		D-11 モルタル面注入付アンカーピニング全面エボキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 20] D-11' タイル面注入付アンカーピニング全面エボキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 18]		
改修前	改修後						<img alt="Diagram D-10': Mortar injection付锚定部. It shows a wall				

名 称	D 浮き部処理				
記号・仕様	D-6 モルタル面注入口付アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法 D-6' タイル面注入口付アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 15] [標仕4. 4. 13]				
改修前	改修後				
工 程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>②孔内エアーコーナー 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>④エポキシ樹脂注入 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシバテ] 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>⑥注入口穿孔 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>⑦孔内エアーコーナー 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシバテ] 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>⑩サンダーケレン ⑪水洗い (15MPa程度) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p>				
名 称	D 浮き部処理				
記号・仕様	D-7 モルタル面注入口付アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 D-7' タイル面注入口付アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 16] [標仕4. 4. 14] ※標準グリッド等は、D-6, D-6' と同じ				
改修前	改修後				
工 程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>②孔内エアーコーナー 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントモルタル] 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>⑥注入口穿孔 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>⑦孔内エアーコーナー 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントモルタル] 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>⑩サンダーケレン ⑪水洗い (15MPa程度) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p>				
名 称	E 欠損部処理				
記号・仕様	E-1 打放し面充填工法 [標仕4. 2. 8]				
改修前	改修後				
工 程	<p>①欠損部はつり等での整形 ②水洗い (15MPa程度) ③欠損はつり部埋戻し [エポキシ樹脂モルタル又はポリマーセメントモルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む</p> <p>設計数量： 0.1 m²</p>			<p>①欠損部・鉄筋周辺はつり等での整形 ②鉄筋とし ③水洗い ④防錆処理 ⑤欠損はつり部埋戻し [エポキシ樹脂モルタル又はポリマーセメントモルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む</p> <p>設計数量： 1.2 m²</p>	<p>①カッターゼン (cutter) ②欠損部はつり等での整形 ③水洗い (15MPa程度) ④欠損はつり部埋戻し [エポキシ樹脂モルタル又はポリマーセメントモルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による)</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量： m²</p>
名 称	F 外壁複合改修工法				
記号・仕様	F 外壁複合改修工法				
改修前	改修後				
工 程	<p>下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーベースト中塗り ③三輪ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーベースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30x15x2.0 ステンレスビス止め) ⑦シリング打設 (MS-2)</p> <p>※D-6工法を行なう場合は、モルタル下地突出部がある場合は撤去し、水切り目地がある場合は穴埋めをすること。</p> <p>500</p>		<p>500</p>		



(注1) 樹脂注入工法の工法の種類を示す



仮設工事特記仕様書

- ①配置図に記載された仮設等については、発注者の考え方を示したものであって、実際に施工においては事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
- ②仮設工事は監督員の承諾を得る。
- ③仮設足場（先行足場、階段式）には、養生シートを張り埃等の飛散を防ぐこと。
- ④入居者及び第三者が、工事エリアに入れないよう、仮設足場1段目には金網等を設置し、施錠付きの出入り口を設けること。
- ⑤階段室等の建物出入り口には、落下防止対策を講ずること。
- ⑥エアコンは、使用できるように室外機を養生すること。
- ⑦外部の水洗い時及び塗料等の臭気を伴う作業の際は、開口部を十分に目張りすること。
- ⑧駐輪場の施工については、施工範囲を分割する等により常時使用可能となる施工手順とすること。

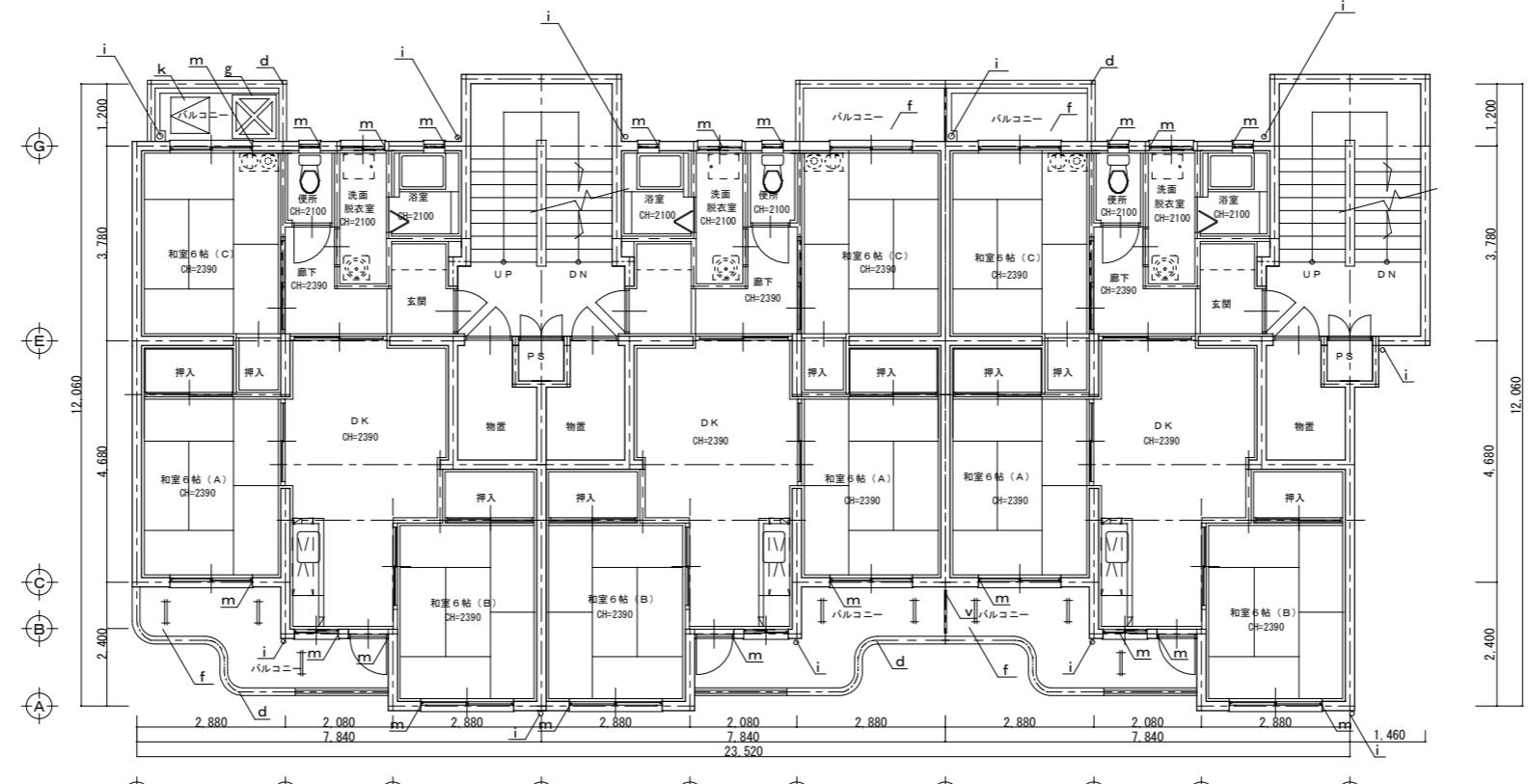
建築物の概要

名 称	福山市山手町住宅3号棟
新築工事の着工日	1991年4月1日
住 所	福山市山手町六丁目33
耐 火 种 別	○耐火・準耐火・その他
構 造	・木造 ○RC造・S造・その他
延べ面積	702m ² (整数部分のみ)
階 数	地上3階 地下1階
解体等の作業の対象となる床面積の合計	m ²
アスベスト調査	外壁・軒裏・階段室・階段室天井：仕上塗材
含有アスベスト	層1(ベージュ)：含有せず 層2(白)：含有せず 層3(グレー)：含有せず

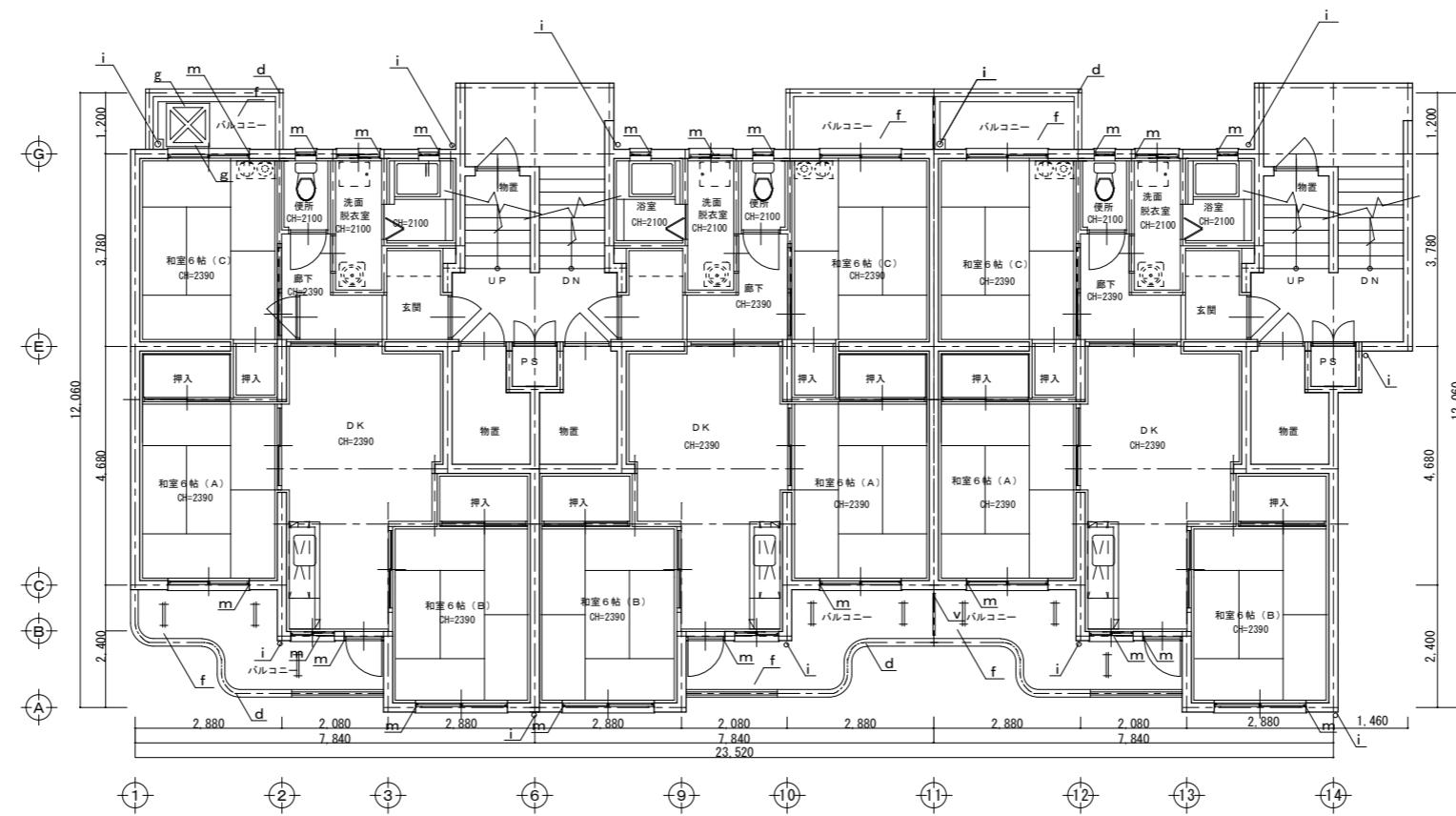
改修仕様書

	改修箇所	既存仕上げ	改修内容
a	外壁(一般部)	コンクリート打放し下地	①劣化改修 ②水洗い(15MPa程度)後、下地調整塗材(C-1) ③複層塗材E塗り(アクリル系) ※ゆず肌状ローラー塗り、3色程度の塗別けにより使用するものとする
a'	外壁(化粧型枠部)	アクリル系吹付タイル	
b	階段室壁、パルコニ-腰壁	(下地調整材アスペクト含無)	
c	軒裏、階段室軒裏	コンクリート打放し下地 アクリル系吹付タイル (下地調整材アスペクト含無)	①劣化改修 ②水洗い(15MPa程度)後、下地調整塗材(C-1) ③複層塗材E塗り(アクリル系) ※砂壁状ローラー塗装
d	庇、笠木	防水モルタル金鑄押え	①水洗い(15MPa程度) ②下地処理 ③ケレン系塗膜防水(X-2)
e	階段室(踏面、蹴上)	防水モルタル金鑄押え	水洗い(15MPa程度)
f	パルコニ-床	防水モルタル金鑄押え	①水洗い(15MPa程度) ②下地処理 ③ホリマーセメント系塗膜防水(床面ノンスリップ仕様)
g	パルコニ-避難器具降下部	-	弾性ケレン塗装(巾80mm, 850角程度)
h	軒樋	硬質塩化ビニール角樋 前高120	硬質塩化ビニール角樋前高120取替、吊金物共
i	堅樋(VP管)	VP管(75φ)	ガラ-VP75φ管取替、リボン・継手、樋バンド：SUS製共 ドレン塗装
j	PS扉、メータ-BOX	D P塗り	①下地調整RB種 ②錆止め塗料B種1回塗り ③D P3級ホリケン2回塗り ※2色程度を使用するものとする
k	避難ハッチ	-	避難ハッチ改修 工法：ガバ-工法 収納ケース：ステンレス製SUS304 はしご本体：熱間圧延鋼板
l	打継ぎ目地、庇取合部 パルコニ-内部目地、小庇	シーリング(25×10mm程度) シーリング(15×10mm程度)	①既存シーリング撤去 ②下地処理 ③ホリケン系シーリング(P U-2)充填
m	サン回り、換気ガーリ	シーリング(15×10mm程度)	①既存シーリング撤去 ②下地処理 ③变成シリコン系シーリング(M S-2)充填 ※外部サン回りは全てシーリング打替(四方、水切り下)とする
n	アルミ製柵		①外壁改修時一時取り外し ②外壁塗装完了後に取り戻す ※取り外し中、ローブ等の注意喚起を行う(14箇所)
o	消火器プレート	既存プレート	消火器標識設置(80×240程度)
p	鳥の巣撤去	-	外壁・階段室・軒下(13箇所程度)
q	小屋裏換気パイプ	D P塗り	①下地調整RB種 ②D P3級ホリケン2回塗り(14箇所)
r	パルコニ-バーナル	アクリル樹脂焼付塗装	①下地調整RB種 ②錆止め塗料B種1回塗り ③D P3級ホリケン2回塗り
s	エアコン室外機	-	①施工時外部足場に移設し ②施工完了後に取り戻す(エアコン室外機12台程度)
t			
u	駐輪場鉄骨部 (腰バーナル共)	D P塗り	①下地調整RB種 ②錆止め塗料B種1回塗り ③D P3級ホリケン2回塗り
v	戸境バーナル		
w	衛星放送アンテナ	-	①施工時外部足場に移設し ②施工完了後に取り戻す(BSATアンテナ2台程度) ※移設・復旧後、動作を確認すること
x	植栽	低木	支障範囲伐採

※特記なき仕上部分は共通とする
※現地探査の上、寸法を決定すること



2階平面図 S = 1 / 100



1階平面図 S = 1 / 100

A2 : 100%
A3 : 71%



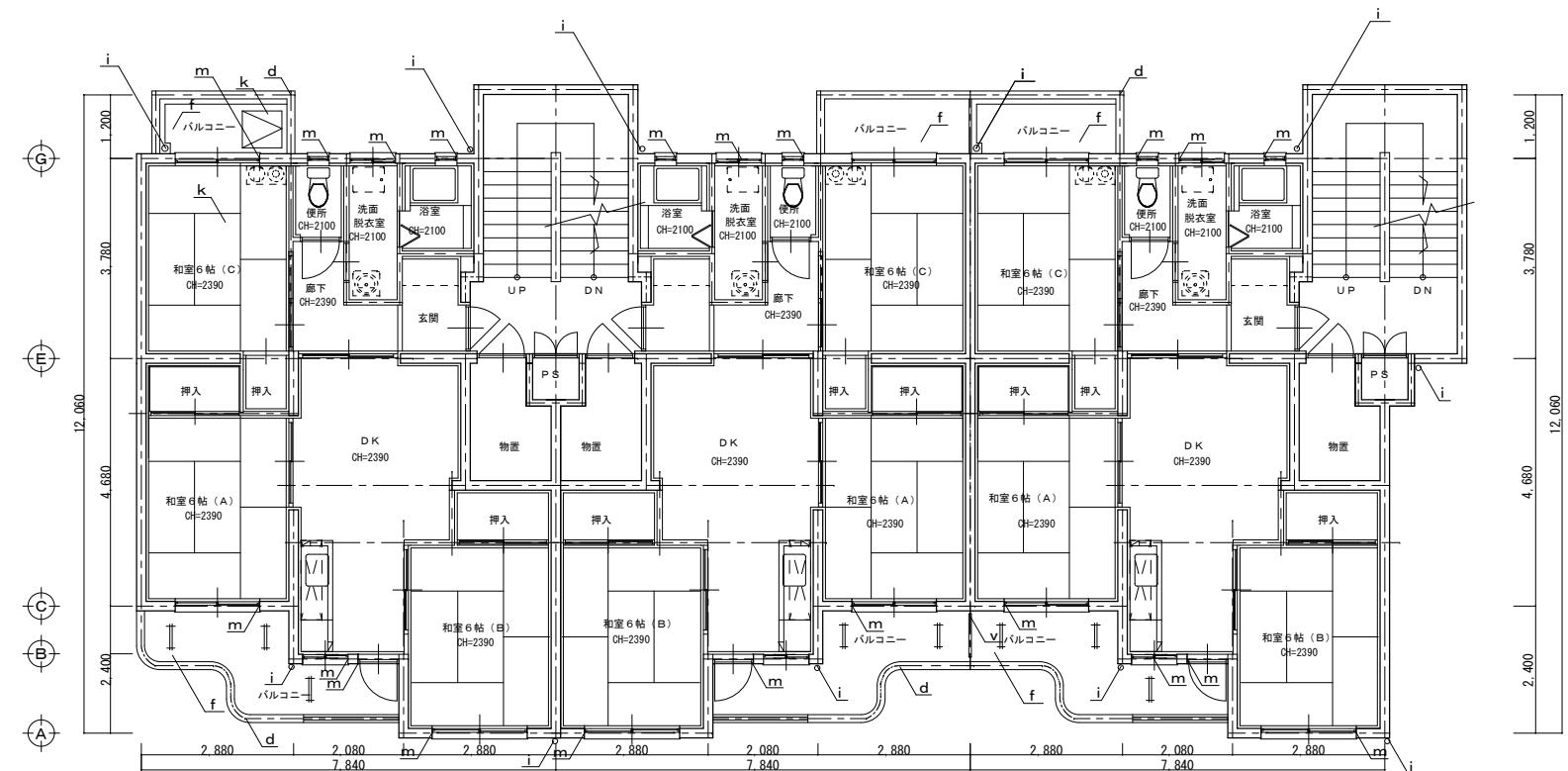
工事名称
山手町市営住宅3号棟外壁改修工事

図面名
1・2階平面図

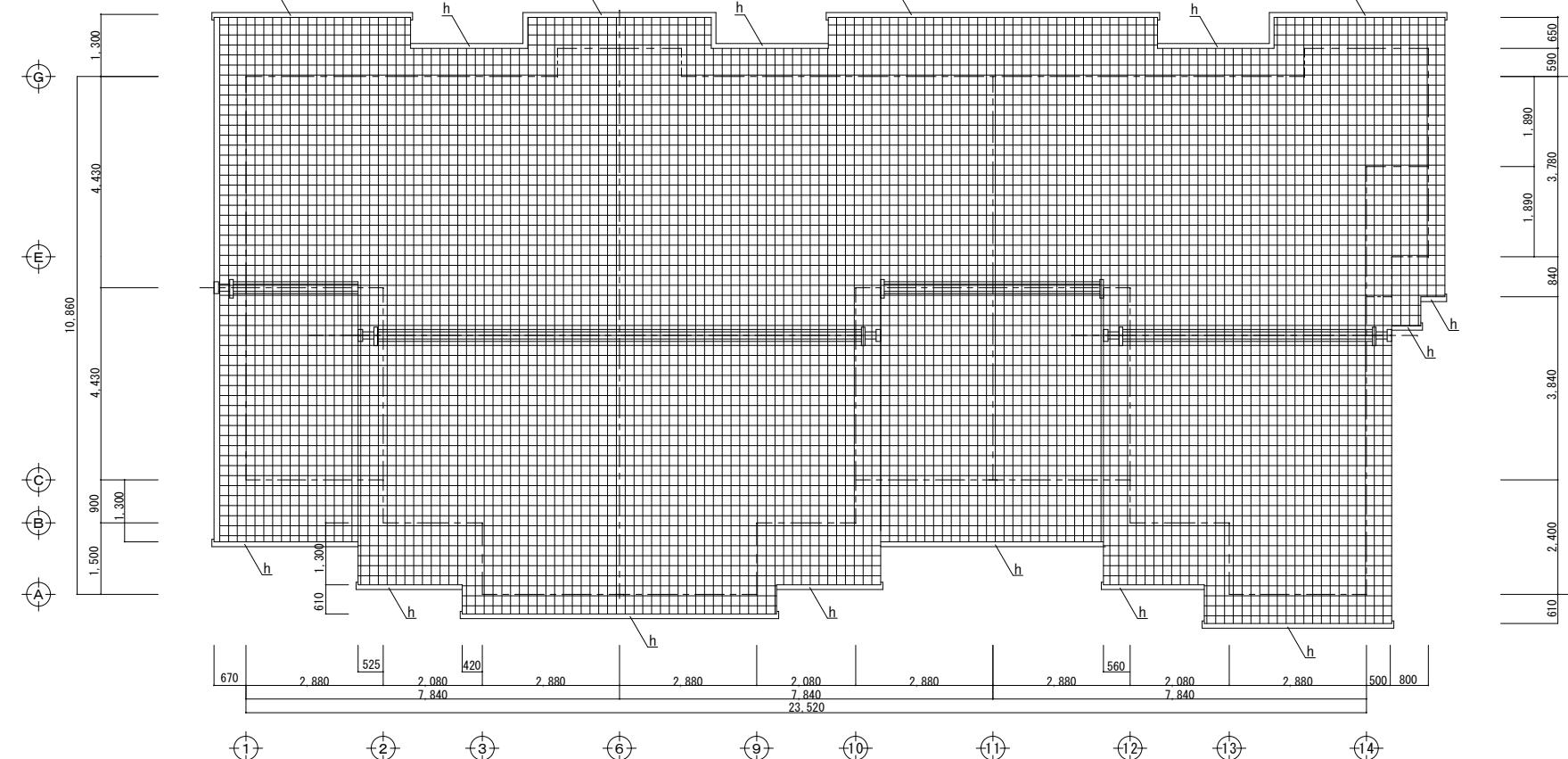
福山市建設局建築部住宅課

2025年 8月

7



3階平面図 S = 1 / 100



屋根伏図 S = 1 / 100

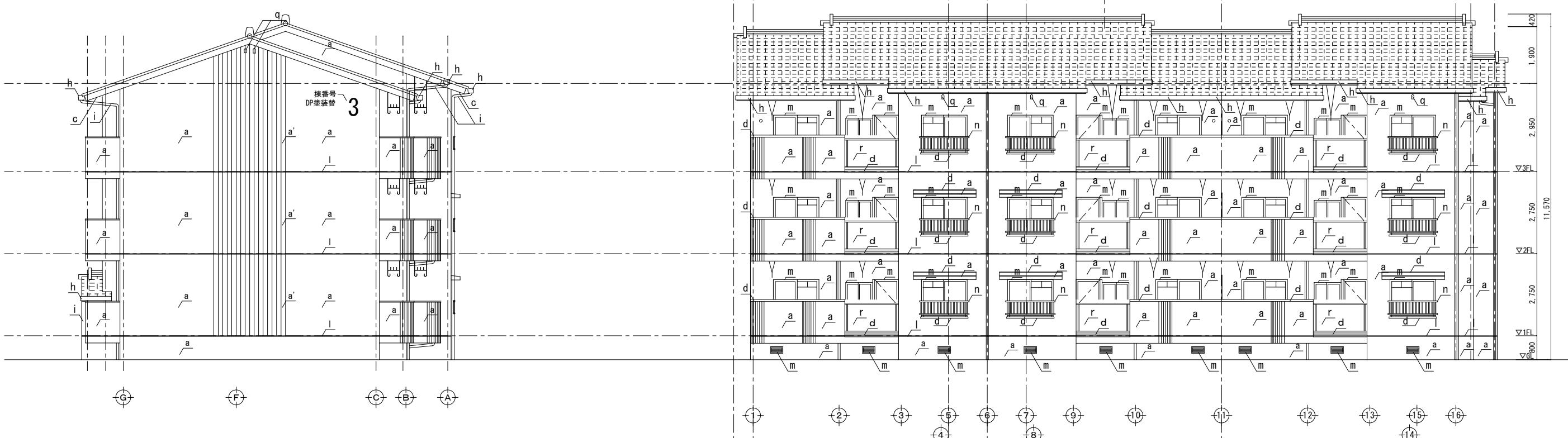
A2 : 100%
A3 : 71%



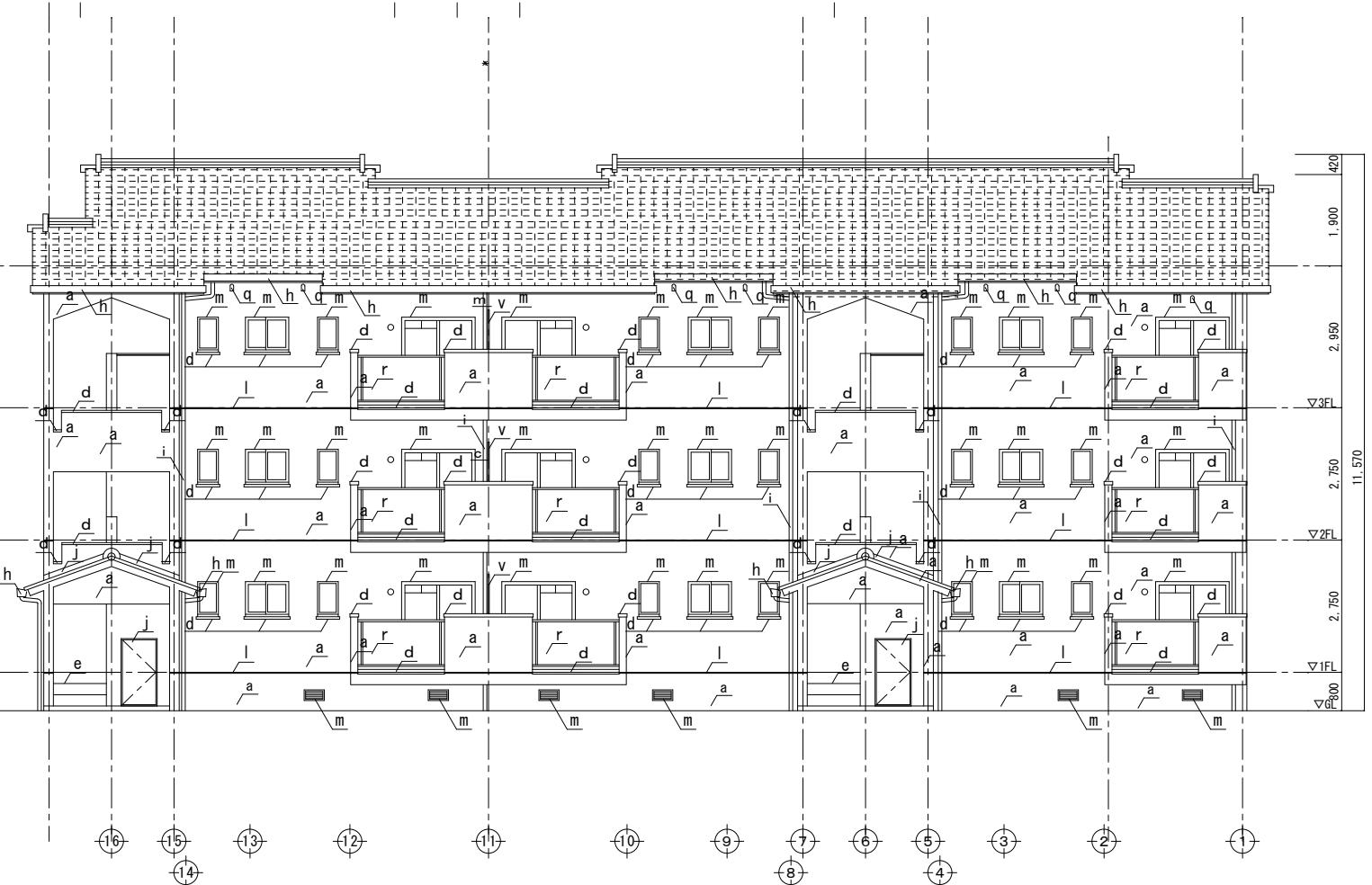
工事名称
山手町市営住宅3号棟外壁改修工事
図面名称
3階平面図 屋根伏図

福山市建設局建築部住宅課

2025年 8月



西立面図 S = 1 / 100



北立面図 S = 1 / 100

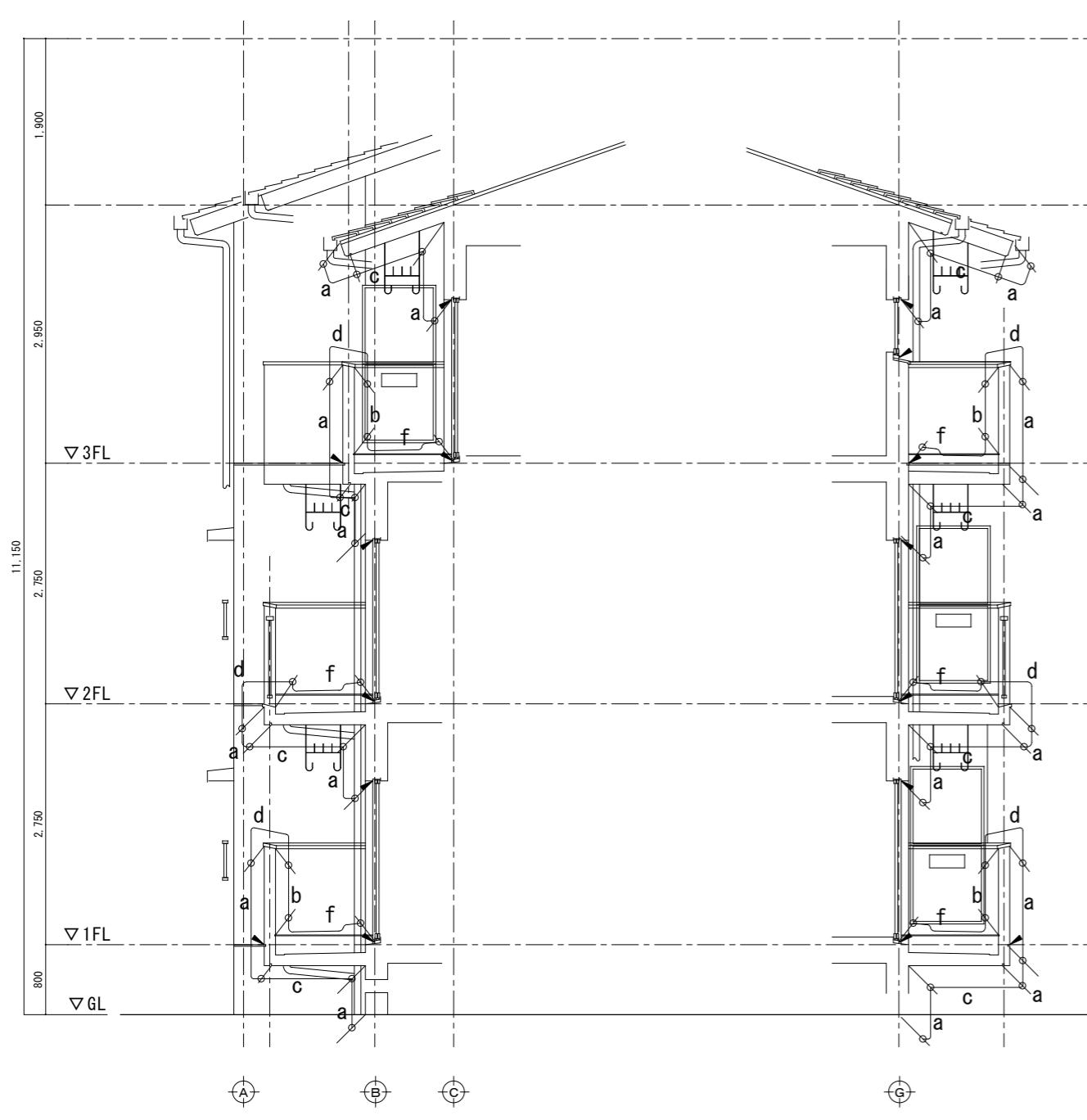
A2 : 100%
A3 : 71%



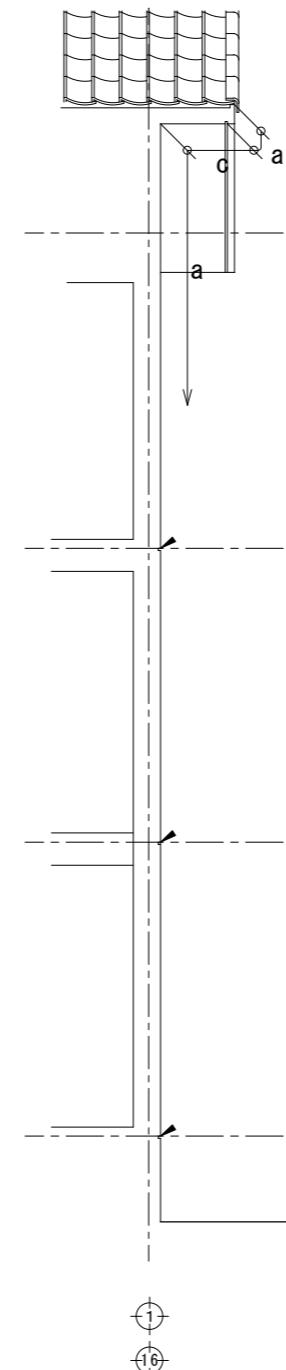
工事名称
福山市山手町住宅3号棟外壁改修工事

図面名称
立面図

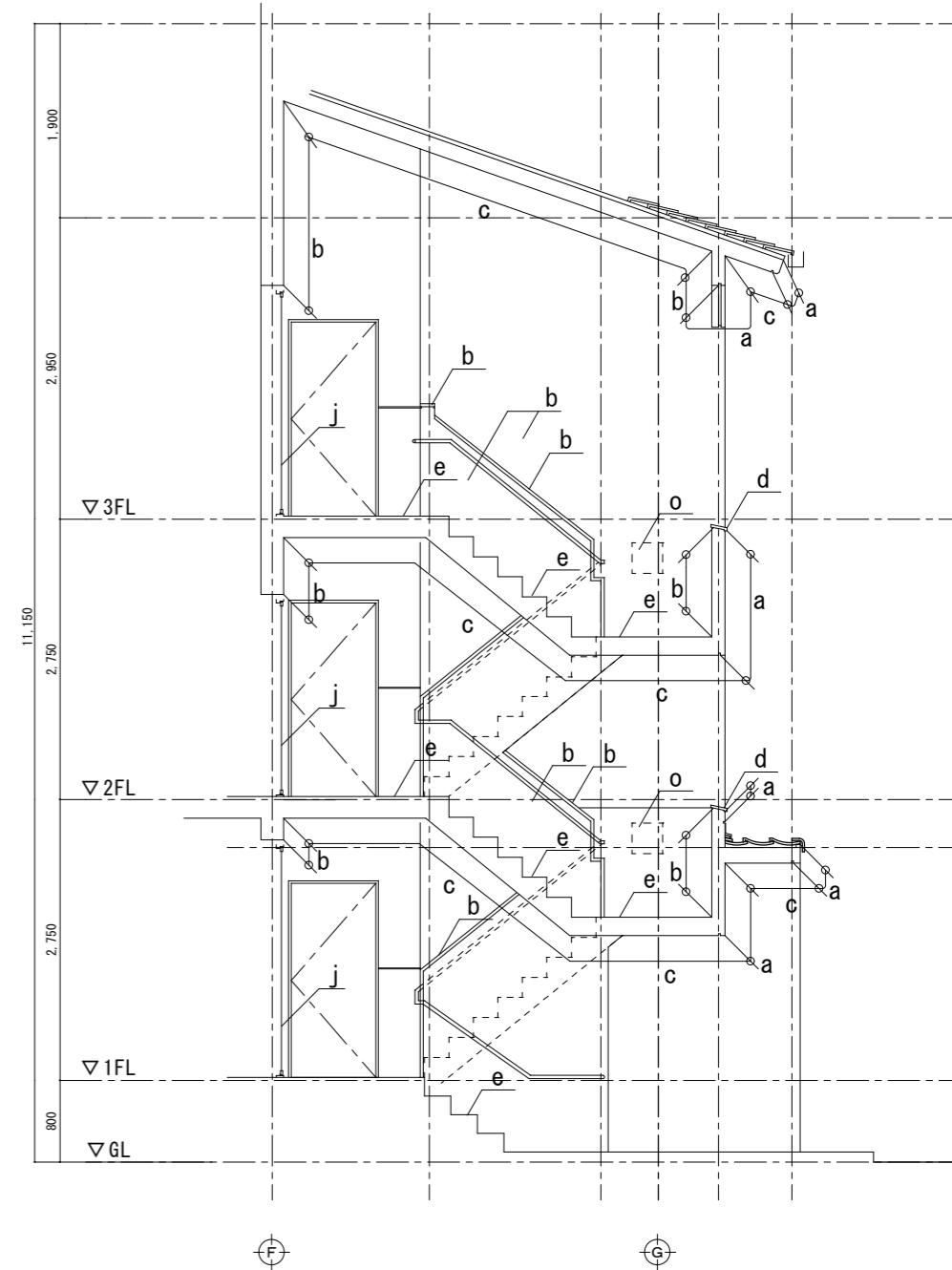
福山市建設局建築部住宅課	画面No
2023年 8月	9



矩計図 S = 1 / 50



階段断面図 S = 1 / 50



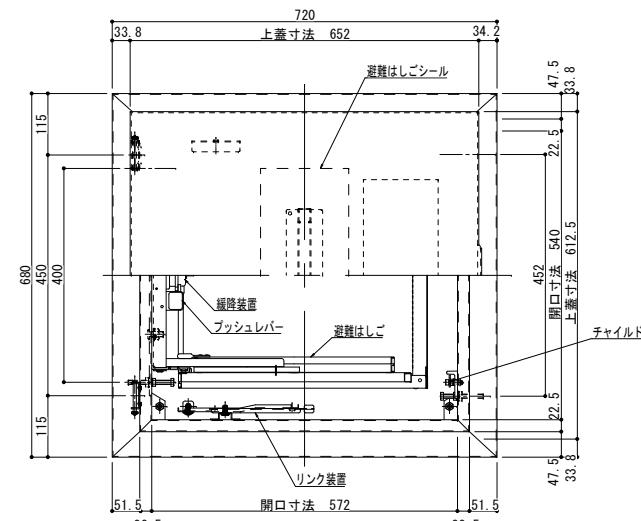
既存避難ハッチ

全2箇所(302、303)

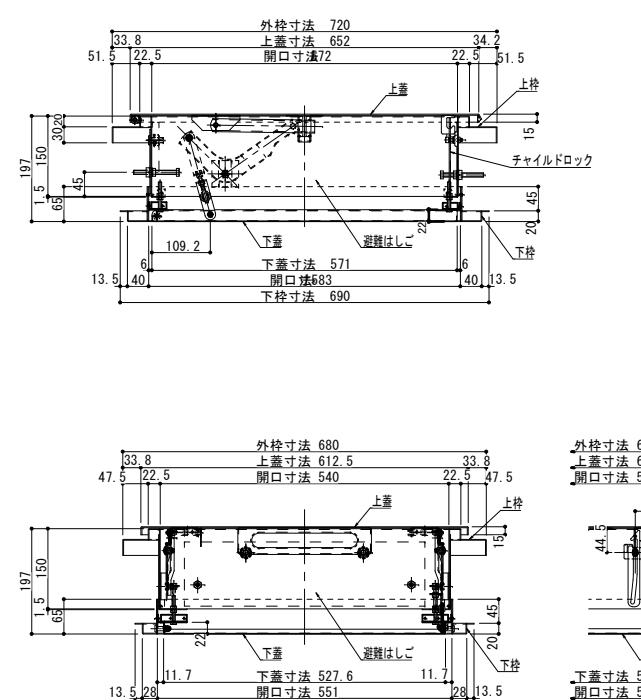
参考メーカー	ナカ工業株式会社
参考品番	RNC III-107
型式番号	は第62-2号

改修用避難ハッチ仕様

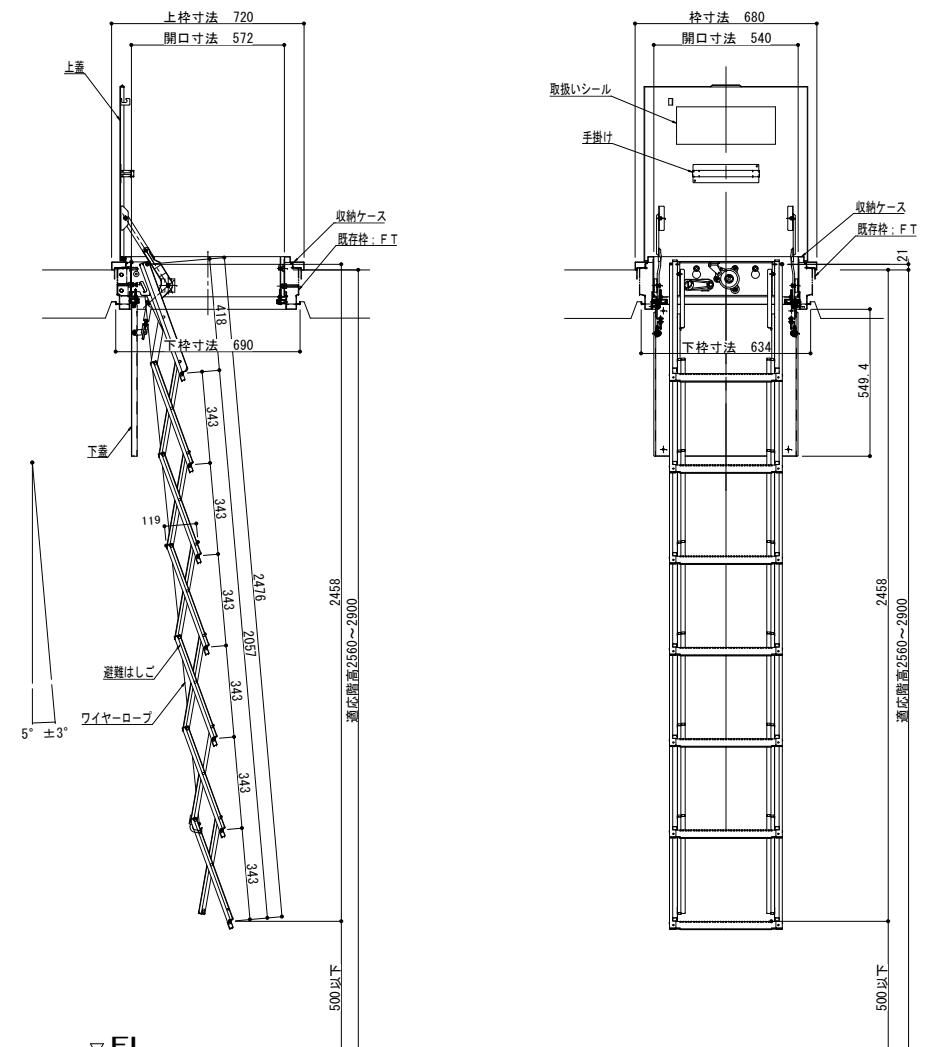
工法	カバー工法
収納ケース	ステンレス製 SUS304
はしご本体	熱間圧延鋼板



改修用避難ハッチ平面図 S=1/10



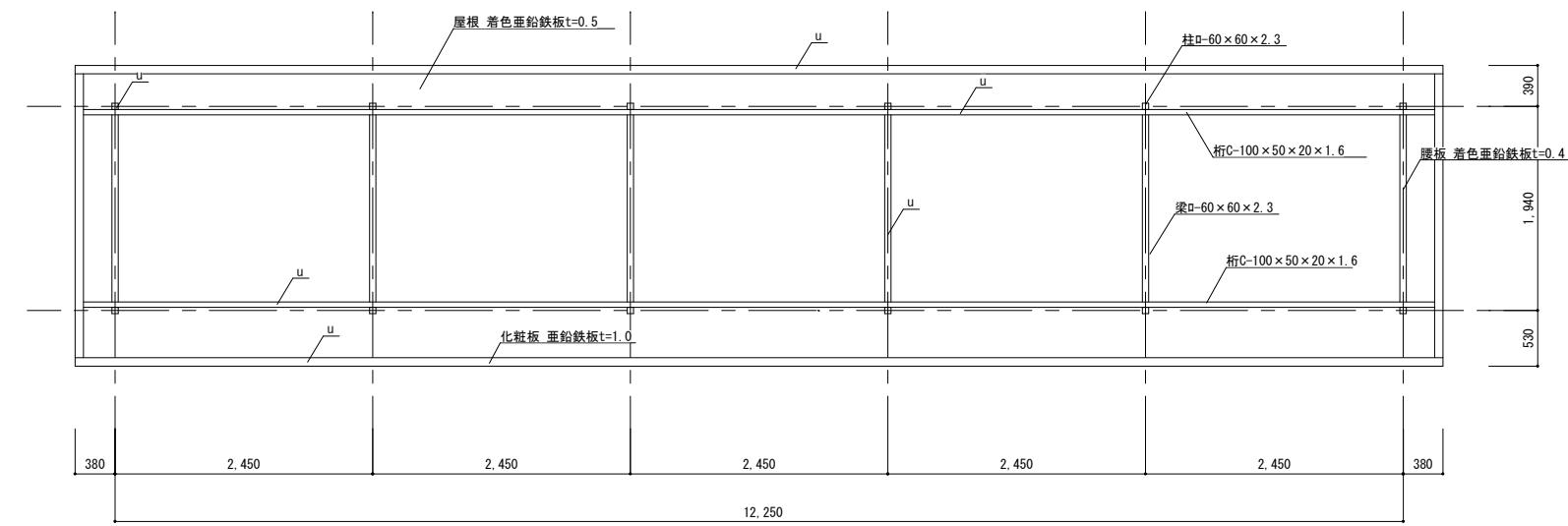
改修用避難ハッチ断面図 S=1/10



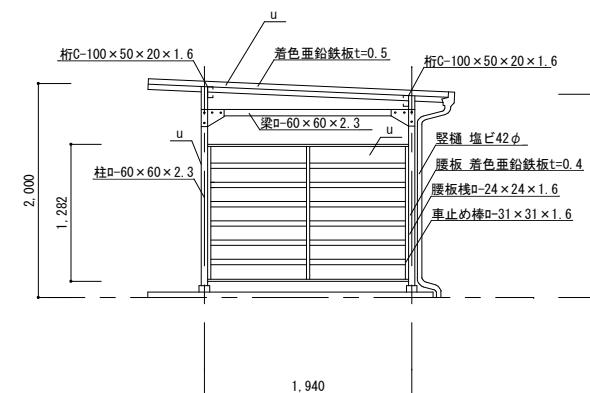
※改修用避難ハッチ（カバー工法）図の寸法は参考とする。現場実測の上、寸法を決定すること。

改修用避難ハッチ側面図 S=1/10

改修用避難ハッチ正面図 S=1/10



駐輪場平面図 S = 1 / 50



駐輪場立面図 S = 1 / 50

参考数量書

§ 工事名称 山手町市営住宅 3号棟外壁改修工事

§ 工事場所 福山市山手町六丁目地内

特記事項

- この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 山手町市営住宅3号棟外壁改修工事

工事場所 福山市山手町六丁目地内

【工事概要】

・外壁改修工事	一式
・塗装改修工事	二式
・防水改修工事	一式
・避難器具改修工事	一式

【対象建物】

3号棟 鉄筋コンクリート造 3階建て 9戸 延べ面積 702m²

駐輪場 鉄骨造 平家建て 1棟 延べ面積 23.8m²

名 称	数 量	単位	金 領	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

直 接 工 事 費 種目別内訳

3

直 接 工 事 費 科目別内訳

4

直 接 工 事 費 科目別内訳

5

直接工事費 中科目別内訳

6

3号棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 頓	備 考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	樋改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
避難器具改修工事	避難器具改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

直 接 工 事 費 中科目別内訳

7

直接工事費 細目別内訳

8

3号棟		仮設工事	直接仮設			
名 称	摘 要	数 量	単 位	单 価	金 頓	備 考
養生(外壁改修)		187	m ²			
開口養生	割り増し	90.1	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		187	m ²			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	123	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	123	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W900 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 20m未満 180日	1,119	m ²			
くさび緊結式足場	180日 底部 ブラケット 掛払い手間,運搬費,維持管理費共	282	m			
安全手すり (手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 180日	92.7	m			
脚立足場 並列	架払い、運搬費、足場板含む	88.3	m ²			
内部階段仕上足場	掛払い手間,運搬費,維持管理費共	78.7	m ²			
養生シート張り	防炎 類 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 180日	1,119	m ²			
金網式養生枠	掛払い手間,運搬費,維持管理費共 180日	181	m ²			
出入口安全対策	コンバネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	2	か所			
計						

直 接 工 事 費 細目別内訳

9

直 接 工 事 費 細目別内訳

10

3号棟		外壁改修工事		塗装改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単位	单 価	金 領	備 考
水洗净	外壁塗装改修 水洗い 加圧力15Mpa程度	1,352	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ローラー塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	1,352	m ²			
DP塗(細物) (配管)	VP管・鉄管 3級 B種 下地調整RB種 配管端末穴埋共	1	式			
DP塗り (設備BOX)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)共	2	m ²			
DP塗り (建具)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)	36.7	m ²			
DP塗り (パルコニ-手摺ハサミ)	現場2回塗り 3級ホーリケン 下地調整共	55.1	m ²			
DP塗り (換気口)		14	か所			
DP塗り (棟番号)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)共	1	か所			
DP塗り (照明器具)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)共	1	式			
ドレン塗装	錆止め塗料塗り 下地調整共	12	か所			
避難器具直下 弾性ホーリケン塗装	幅80 850RH-002程度 下地調整共	2	か所			
E P - G 塗り 改修仕様	ホーリー面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	11.9	m ²			
計						

直 接 工 事 費 細目別内訳

11

直 接 工 事 費 細目別内訳

12

直 接 工 事 費 細目別内訳

13

3号棟		外壁改修工事		その他工事		
名 称	摘 要	数 量	単位	单 価	金 領	備 考
建付調整	鋼製扉	1	式			
防鳥ネット 撤去・復旧		1	式			
階段室床 水洗い	脆弱部補修共	1	式			
鳥の巣撤去		1	式			
窓格子取外し復 旧		9	か所			
室外機移設・復旧		12	台			
アンテナ移設復旧		2	台			
避難案内スティッカ-取 替	材工共	6	か所			
消火器標示スティッカ-	材工共	4	か所			
屋根瓦点検		1	式			
棟番号取替	鋼製 H700×W300 取付・撤去費共	1	か所			
植栽伐採		1	式			
計						

直 接 工 事 費 細目別内訳

14

直 接 工 事 費 細目別内訳

15

直 接 工 事 費 細目別内訳

16

直 接 工 事 費 細目別内訳

17

共通仮設費(積上) 明細

18